

読書教材の扱いについて —「ゼブラ」(二年)を例に—

1 はじめに

新しい学年が始まりました。この一年間、全国の国語の教室において充実した言葉(国語)の学習が展開されることを期待したいと思います。

今回は、いわゆる読書教材の扱いについて取り上げてみました。そもそも、いわゆる読解教材と読書教材との性格の違いはどこにあるのでしょうか。

読解教材が目指すところは、当然のことながら生徒一人一人の言語能力の伸長です。学習活動は、書かれている事柄より、事柄の書かれ方の精査(表現の吟味)に中心が置かれます。ゝ

山梨学院短期大学教授
松野洋人

それに対して、読書教材は対照的です。読書教材が担っている役割は、生徒たちをいかに読書に誘い、豊かな読書生活に導くかという一点にありますから、表現の細部にこだわり、書かれ方を詳細に精査する必要はないのです。大事なことは、それぞれの教材の特性を手掛かりとして、生徒の興味・関心の対象をいかに抽出するかということです。

2 「ゼブラ」を例に

光村の教科書では、七月と十二月のそれぞれ後半、即ち長期休業の直前に「本の世界を広げよう」という教材を配置し

ていて、文章の種類は、各学年とも七月は文学(小説)、十二月は説明的な文章で統一されています。

ここでは、第二学年の七月に配置されている「ゼブラ」を取り上げて、考えてみたいと思います。

「ゼブラ」を読んで、生徒たちは何に心を留めるでしょうか。実際に授業を行ったことのある先生たちの報告に私自身の意見をも少し加えて整理してみると、次のようになります。

第一は、「心の交流」という観点です。その中心が、ゼブラとウィルスンさんとの心の通い合いにあることは言うまでもありませんが、仄かな対異性感情を相伴ったゼブラとアンドリアとの交流、バ

トナム戦争で亡くなった戦友レオンに対するウィルスンさんの心情や行動などにも、多くの生徒は心を留めるだろうと思います。

次に、ウィルスンさんが片腕を失うことになり、彼の親友レオンが命を失い、大国アメリカがベトナムに敗れたベトナム戦争に対する関心です。実は、各学年には、それぞれ「大人になれなかった弟たちに……」(二年)、「字のないはがき」(二年)、「挨拶—原爆の写真によって」(三年)という、いわゆる平和(戦争)教材が配置されているのですが、「ゼブラ」も広い意味での平和教材という側面をもっており、「平和・戦争」という観点が浮かび上がってきます。

次に、「障害」という観点も考えられます。戦争で片腕を失ってしまったウィルスンさん、交通事故で左手に後遺症を抱えているゼブラ、彼らが様々な状況の中で前向きに力強く生きていく姿も、生徒たちの心を捉えると思います。

もう一つ、「翻訳文学」という観点も見逃せません。皆さんお気付きかもしれませんが、教科書には、「少年の日の思い出」(一年・ヨーロッパ)、「故郷」(三年・

アジア)、そして「ゼブラ」(二年・アメリカ)と、それぞれ地域別に一作品ずつ教材として採用しています。なかなか細かいところまで気配りがされているのです。日頃青少年向け流行作品しか手にしないような生徒たちに、翻訳文学に目を開かせる契機となつてほしいという願いも込められた作品なのです。

3 読書への誘い

正直に言えば、中学生の発達に精神的にも言語的にも適合し、彼らの心を育てる力がある作品であれば何を読んでもよいのです。しかし、それでは読書指導にはなりませんし、「ゼブラ」を読む必然性もありません。

「ゼブラ」と有機的関連をもつて読書に誘うとすれば、まず前項で示した観点を切り口にすることが考えられます。「心の交流」「平和・戦争」「障害」など、すべて普遍的テーマですし、青少年向きの作品も数多く存在しますので、比較的内容に誘うことができると思います。また、「翻訳文学」という観点でも中学生

に相応しい作品が数多く出版されています。

具体的には、まず「ゼブラ」直後の二ページに紹介されている「読書案内」巻末資料「学習を広げる」の「本との出会い」(「国語2」p.226～p.227)にリストアップされている百冊の本の中から、前掲観点に関連した作品を選ばせるとよいでしょう。

次に学校図書館との連携を考える必要があります。学校図書館を「計画的に利用しその機能の活用を図」ることは、新学習指導要領においても、その「総則」や「国語」の「指導計画の作成と内容の取扱い」の項などで取り上げ、強調しているところです。司書や司書教諭等の協力も得ながら、前掲観点に関連し、しかも中学生に相応しい作品を選び、生徒たちに紹介するとよいでしょう。その際、図書館の中に「ゼブラ」関連コーナーなるものを設置できれば読書への誘いに効果的だと思います。

いずれにしても、夏季休業に向けて「本を読もう」という気持ちを一人一人の生徒に呼び起こすような読書への誘いを工夫したいものです。